

▶ 素材（丸太）生産の経験が少ない林业事業体については、今後の拡大が見込まれる主伐や利用間伐において利益を森林所有者に十分還元する施設を行うためには、実践的な研修の場が必要である。OJT研修を実施するため、市有林において利用間伐に取り組むこととし、準備段階から専門家の指導を受ける研修会を開催した。

□ 事業内容

素材生産にかかる人材の育成

- ・兎谷市有林の利用間伐を地元森林組合に委託
- ・この現場での人材育成研修の開催を県の森林組合連合会に委託
- ・利用間伐の現場でOJTによる研修会を開催

【事業費】6,119千円（うち譲与税3,916千円）
 (委託費から材の販売収益を除いた額に譲与税を充当)

【実績】利用間伐 2.45ha

講習・指導回数：6回、地元森林組合を中心に4団体

□ 取組の背景

- ・市有林では、これまで積極的な木材生産が行われておらず、間伐は財政負担の少ない切り捨て間伐が中心だった。伐期を迎える森林においては、今後の施設・市有林の扱いが課題になってきた。
- ・これまで補助事業、なかでも切り捨て間伐を主に進めてきた林业事業体においては、人工林の多くが主伐期を迎えようとする中で、今後の事業展開を検討する上で素材生産の経験を積んでいくことは、必要であると判断した。



(準備打合せ)



(先柱・荷掛け作業)



(集材・造材作業)

□ 工夫・留意した点

- ・準備段階では間伐を行う森林組合の森林技術者が研修の主な対象となった。主となる現場作業については、他の林业事業体にも参加を呼びかけた。
- ・間伐対象地が市有林であることから、県の森林組合連合会の地域森林管理支援センターによる市への支援制度も活用して研修を実施した。
- ・事業の完了後に改めて講師と森林技術者、事業体職員等を交えて意見交換会を開催した。

□ 取組の効果

- ・林业事業体の素材生産に向けた意識の醸成
- ・森林技術者の「林业に従事する意識」の変化（自身の判断や作業が収益を左右し、高いスキルを身に着けることによる産業としての林业への貢献など）
- ・単年度の研修に止らず、令和6年度からの市有林の主伐について市有林の管理を委託している森林組合から提案を受け、市としても可能な支援を行う。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：46,568千円	②私有林人工林面積（※1）：7,270ha
③林野率（※1）：85%	④人口（※2）： 32,928人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 令和6年7月に供用を開始した本巣市役所新庁舎の内装や造作家具、市三役・正副議長・教育長の執務机や市民が使用するテーブル・ソファに本巣市有林産のスギ・ヒノキ・ブナを使用した。
- 市三役や正副議長には、執務室への来訪者に本巣市の森林・林業について情報発信する際の材料に活用していく。

□ 事業内容

市産材による新市役所の内装木質化・家具製造

- 市役所新庁舎の内装用木質部材（議場の造作家具、カウンターや市民ホールなどのルーバー等）に市有林のスギを使用。
- 市三役と正副議長・教育長の執務机・椅子、市民が使用するテーブルやソファ・椅子を市有林のブナ・ヒノキを使用して製造。

【事業費】39, 185千円（うち譲与税39, 185千円）

【実績】内装・造作家具の使用量（製品換算） 81. 63 m³
 执務机・椅子・テーブル・ソファ 108台(脚)

□ 取組の背景

- 3町1村が合併して誕生した本巣市では、市民の多くが濃尾平野の住民であり、林業や森林は遠い存在である。
- 旧根尾村は多くの森林を抱えるが林業地とは言いがたく、これまで素材生産が行われてこなかった市有林に関して、「市有林の存在理由・利用価値」を発信する事例としての取り組みも必要であった。
- 公共施設の木造化や内装木質化にただ森林環境譲与税を充てるだけでなく、公有林を有する自治体としての独自色を求めた。



(議場)



(市長室机・椅子・書棚)



(市民ホール)

□ 工夫・留意した点

- 市有林の木材を新庁舎で使用するため、令和3年度から製材・木材加工や市場の関係者を交えて検討を進めた。令和5年度の建設工事に対応するため、伐採は令和4年度に行った。
- 市産材の使用率を高く設定することは、伐採から施工までの各段階で事業費の増大につながることが懸念されたため使用率には拘らないこととし、市産材を目にする機会が多くなることを優先した。
- 事前に試験伐採した材は学童机の天板に加工した。また、伐採跡地の市有林では、天板を納めた先の根尾学園（根尾地区の小中一貫校）の生徒を対象として森林・環境学習を実施した。

□ 取組の効果

- 市産材の使用量としては決して多くはないが、関係者の尽力により木材の使用を感じることができる市庁舎となり、来訪者からは高い評価をいただいている。
- 令和6年6月末に実施された市民向けの新庁舎内覧会において、平野部に住む多数の市民に向けて、「森林環境税活用のPR」と「本巣市にも市有林があり、林業が行われている」ことを紹介した。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：46,568千円	②私有林人工林面積（※1）：7, 270 ha
③林野率（※1）：85%	④人口（※2）： 32, 928人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より